

市立中学校の紹介

(生徒数・学級数は、令和6年5月1日現在)

学校紹介の内容

- <教育目標>
- <研究主題>
- <重点教科等>
- <特色ある学校づくりへの取組>

- (1) キャッチフレーズ
- (2) 取組内容
- (3) 成果

など

草加中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
 学級数 20学級 校長 小松 薫樹
 生徒数 648人 教頭 市村 耕治



- <教育目標>
目標を持ち、努力する生徒
- <研究主題>
自分を大切な存在だと思える児童・生徒の育成
- <重点教科等>
全教科・全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
 - (1) 生徒の目指す学校(スローガン)「あ・か・つ・き」の実践
 - あ・・・明るい あいさつ(規律)
 - か・・・活発な かつどう(自主)
 - つ・・・強い つながり(友情)
 - き・・・今日を きり開く(向上)
 - (2) 取組内容
 - ①「いまをたくましく生きる」ための確かな学力を育む学習指導
 - ②「いまをたくましく生きる」ための生徒指導
 - ③幼保小中を一貫した教育の推進
 - ④地域とともにある学校づくりの推進
(コミュニティ・スクールの推進)
 - ⑤「いまをたくましく生きる」ための健康教育・安全教育の充実
 - ⑥多面的・多角的に考える生徒を育む道徳教育の推進
 - ⑦インクルーシブ教育の視点をもつ学校教育の充実
(特別支援教育の推進)
 - ⑧「いまをたくましく生きる」ための進路指導の推進
 - (3) 成果
 - 生徒一人ひとりが規律ある学校生活を送り、学習指導に対して意欲的に取り組むことができた。また、部活動では全国、関東大会にも出場するなど文武両道を実践できた。

栄中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
 学級数 15学級 校長 大野 正浩
 生徒数 459人 教頭 綿貫 稔



- <教育目標>
自ら学び考え行動する生徒(知)
豊かな心を持ち思いやりのある生徒(徳)
健康でたくましい生徒(体)
- <研究主題>
互いに学び合い、認め合い、高め合う子どもの育成
～自己肯定感を高め、自己有用感を実感できる学びの充実を通して～
- <重点教科等>
全教科、全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
 - (1) キャッチフレーズ
「いいとこ探しの栄中学校」
 - 【さ】爽やかなあいさつ 【か】輝く笑顔 【え】英気あふれる栄中
 - (2) 取組内容
 - ①自己肯定感、自己有用感を育む学びの確立に向けた授業改善
 - ・補充学習
 - ・言語活動の充実(学び合い・認め合い・高め合い)
 - ・ICT機器の積極的な活用
 - ②生徒指導の充実
 - ・あいさつ ・言葉づかい ・規範意識
 - ③学校行事の充実
 - ・目標の明確化 ・体験活動の推進 ・ボランティア活動
 - ④環境教育の充実
 - ・清掃活動 ・緑化活動 ・さかえ農園 ・制服等リサイクル
 - ⑤豊かな心の育成
 - ・いじめ、暴力の根絶 ・人権教育
 - ・いのちの学習 ・道徳教育
 - (3) 成果
 - 幼保小中を一貫した教育の推進により、授業において自己肯定感・自己有用感の向上を意識した授業改善が見られ、各種調査においても一定の向上が見られた。清掃活動や避難所設営市民防災訓練等を実施し、学校・家庭・地域との連携ができた。

谷塚中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
 学級数 19学級 校長 森 寿義
 生徒数 590人 教頭 清水 孝一



- <教育目標>
学び合う生徒(知) 思いやる生徒(徳) 高め合う生徒(体)
- <研究主題>
共に学び合い 認め合い 高め合う 子どもの育成
ー自己肯定感・自己有用感の育成を柱としてー
- <重点教科等>
全教科・全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
 - (1) キャッチフレーズ(目指す学校像)
 - ・生徒の学びを大切にする学校(よりよい授業づくり)
 - ・生徒一人ひとりが大切にされる温かな学校(よりよい学級づくり)
 - ・地域に感謝し、貢献する誠実な学校(よりよい地域づくり)
 - (2) 取組内容
 - ①幼保小中を一貫した教育の推進
 - ・英語での表現活動、総合的な学習「学ぼう!ふるさと草加」
 - ・学級活動(学級会等)と道徳教育(ローテーション道徳)の充実
 - ・ソーシャルスキルトレーニングの実施や不登校・配慮を必要とする生徒への適切な支援
 - ②確かな学力(学力向上)
 - ・授業規律、指導法の改善(ねらいの明確化、振り返りの確保)
 - ・ICTの活用、全国・県・市学力学習状況調査結果の分析と課題への対応
 - ③地域とともにある学校づくりの推進
 - ・学校運営協議会における情報提供や協議の充実
 - ・各種たより、ホームページ、配信メールの充実
 - ④個に応じた適切な支援
 - ・不登校生徒への積極的な対応(未然防止、初期対応、自立支援)
 - ・特別支援教育コーディネーターを中心とした配慮を要する生徒に対する指導や教育相談部を中心とした校内研修の推進
 - ・生徒の特性に合わせた教育措置(特別支援学級での体験入級等)
 - ⑤豊かな心の育成
 - ・さわやか相談員、学習指導補助員、SSW、SCとの連携
 - ・外部機関(児童相談所、子ども家庭課等)との積極的な関係づくり
 - (3) 成果
 - 生徒が互いに認め合い、尊重し、差別することなく共に活動することができるようになってきた。また、生徒会活動も盛んに行われるようになった。
 - 個に応じた適切な対応では、教職員とさわやか相談員、学習指導補助員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等の関係も密に取り、適切、組織的に行われるようになった。

川柳中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
 学級数 12学級 校長 金塚 和美
 生徒数 350人 教頭 高橋 恒太



- <教育目標>
 賢く 優しく 逞しく
- <研究主題>
 変化の激しい現代社会を生きる力の育成
- <重点教科等>
 全教科・全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) 目指す学校像
 自ら学び、心豊かで、逞しく生きる生徒と、それを支える教育愛に満ちた教職員が集う、保護者・地域とともにある学校
- (2) 取組内容
 ①「主体的・対話的で深い学び」の視点の授業改善と学習習慣の確立による学力の向上
 ・「授業の5か条」「学びの5か条」をもとにして、学校組織全体で授業改善を図る。
 ②生徒を認め、鍛え、育む中での豊かな心と逞しい体の育成
 ・全教職員の共通理解に基づいた生徒指導体制を確立する。
 ・校内規律・授業規律(授業規律の5原則)を徹底し、生徒の望ましい生活習慣を育成する。
- (3) 成果
 ○全校生徒が落ち着いた学校生活を送っている。
 ○学校評価や振り返り・アンケート等で、『授業の内容がわかる』『意欲的に学習し、学力向上を目指している』と回答している生徒が84%を超えている。
 ○学校生活全般にわたる「自己肯定感の向上」を目指した取り組みが主体的な活動姿勢につながっており、『学校生活が楽しい』という評価が90%を超えている。

新栄中学校

創立年月日 昭和49年4月1日
 学級数 21学級 校長 諏訪 太介
 生徒数 670人 教頭 江口 和彦



- <教育目標>
 自ら学ぶ生徒 ～意欲的な学習・学力向上・進路実現～
 思いやりのある生徒 ～人の気持ちが分かる生徒～
 健康でたくましい生徒 ～規則正しい生活と心身の健康～
 正しい行動のできる生徒 ～規律を守り行動に責任をもつ～
- <研究主題>
 夢や希望を持ち、学び続ける子どもの育成
 ～主体的に学びに向かう力の育成、自己肯定感・自己有用感・他者理解の醸成～
- <重点教科等>
 全教科・全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) 目指す学校像
 生徒も教師も「居心地のよい明るく活力のある新栄中学校」
- (2) 取組内容
 ①学習指導
 これからの社会で求められる資質・能力の育成
 ②学年・学級経営
 一人ひとりのよさの視点を定めた承認、激励による生徒との信頼関係の構築
 ③生徒指導・教育相談
 一人ひとりの健全な成長を促し、生徒自らの自己実現を図るための自己指導、能力の育成を目指す生徒指導、生徒指導の一環として生徒の抱える課題解決のための支援を行う教育相談
 ④生徒会活動
 生徒の学校生活の充実・発展とその改善・向上に資する自発的、自治的活動
 ⑤特別支援教育
 一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援とインクルーシブ教育システムの構築
- (3) 成果
 学校行事や部活動、授業などの学習活動を通して、生徒の自己肯定感・自己有用感が育ってきている。

瀬崎中学校

創立年月日 昭和51年4月1日
 学級数 20学級 校長 小野 陽子
 生徒数 638人 教頭 宮本 雅章



- <教育目標>
 自らの生き方を考え、実践する生徒の育成「よりよく生きる」
 「ま」・・・学び続ける生徒
 「つ」・・・強い体をもつ生徒
 「な」・・・仲間を思いやる優しい心をもつ生徒
 「み」・・・みんな仲良く笑顔あふれる生徒
 「き」・・・希望をもち夢に向かって努力する生徒
- <研究主題>
 確かな学力と豊かな心を育成し、たくましく生きる生徒の育成
 ～学びと心を結ぶ9ヶ年の継続指導を通して～
- <重点教科等>
 全教科・全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 ①あいさつ日本一 ②響きわたる合唱 ③心を込めた清掃 ④活力ある部活動
 ⑤一人ひとりのよさ・違いを認め合う学校
- (2) 取組内容
 ①学力向上 瀬崎スタイルの確立
 ・わかる・できる・伸びる授業・基礎学力の定着
 ・定期的なコンテストの実施(表彰)・テスト前学習の充実
 ②ステップアップルームの設置
 ・学習指導で不登校対策・個に寄り添った指導
 ・いじめは許さない!指導・道徳教育と教育相談体制の確立
 ③特別支援教育の充実
 ・特別支援教育の視点で個に応じた指導、支援の具体化(自立を目指した教育への共通理解・全職員で!)
 ④新形式のホームページの分担体制を図り、随時更新
 ・HP情報発信・開かれた学校づくり
 ・学校だより等、保護者・地域への発信
- (3) 成果
 ○基礎学力向上、「基礎・基本」定着のために、長期休業中や定期試験前の補充学習、3教科学力コンテストによる基礎学力の向上、予習・復習等の家庭学習習慣の確立、毎時間のドリル学習を行い徐々に成果が上がってきている。
 ○学校、家庭、地域が一体となって校則改定について考えたり、地域と協力した防災訓練を行うなど、地域との協力関係を強めることができた。
 また、学校の各種行事やHP情報や各種便りなどの情報配信メールの活用を行うことができた。

花栗中学校

創立年月日 昭和52年4月1日
 学級数 14学級 校長 笠井 誠司
 生徒数 414人 教頭 竹原 英里



- <教育目標>
 自ら考え、心豊かに、たくましく生きる
 ・自ら学ぶ生徒(知)
 ・豊かな心を育てる生徒(徳)
 ・心身共に健康な生徒(体)
- <研究主題>
 自ら考えを深め、より良く学び合う生徒の育成
- <重点教科等>
 全教科・全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 ①「信頼」と「和」に基づく教育を推進する学校
 ・生徒同士の「和」
 ・生徒と教師の「信頼関係」
 ・保護者と教師との「信頼」と「協力」
 ・職員間の「和」と「協働」
 ・地域と共にある学校
- (2) 取組内容
 ①メンタルヘルス研究推進校(R3～R6)
 ②今年度の重点
 ・「自ら学ぶ生徒」を育成する授業改善
 ・「豊かな心を育てる生徒」を育成する活動の充実
 ・「心身共に健康な生徒」を育成する生徒指導・特別支援教育の推進
 ・幼保小中を一貫した教育の研究と実践
 ・地域と共にある学校作りの推進
- (3) 成果
 ○様々な教育活動を通して、特に個別最適な学びや協働的な学びの充実から、生徒一人ひとりの安心安全を確保し、落ち着いた学校づくりが推進された。
 ○また、メンタルヘルス研究推進校としての数年間の取組を活かし、中学校区の各小学校との職員間交流を通して、教育相談を活性化させることができた。

両新田中学校

創立年月日 昭和54年4月1日
 学級数 18学級 校長 本間 錦一
 生徒数 520人 教頭 矢野 博之



<教育目標>

【自ら学び 心豊かに たくましく】

- 自ら学び（知）
 - ・自分の考えをもつ ・正しく判断し行動する ・目標をもち努力する
 - ・基礎的、基本的な知識や技能を必要に応じて柔軟に活用できる
- 心豊かに（徳）
 - ・互いの良さや努力を認め合う ・態度や行動に示し主体的な実践をする
 - ・多くの人に支えられていることを自覚し、他の人に思いやりをもって親切にできる
- たくましく（体）
 - ・困難を克服する力や健やかな体を目指す 規則正しい生活習慣確立
 - ・体力向上に努め、あきらめず、粘り強く、物事に取り組む

<研究主題>

生徒の自主性を引き出す、魅力ある「わかる」授業づくり

<重点教科等>

全教科・全領域

<特色ある学校づくりへの取組>

- (1) めざす学校像
 - 生徒一人ひとりを大切にし、夢と絆を育み、笑顔あふれる学校
 - 「最初を」大事にする学校
- (2) 取組内容
 - ①生徒一人ひとりに基礎基本を定着させる
～生徒理解に基づく指導と評価の実践～
 - ②生徒一人ひとりの良さや可能性を引き出す
～生徒に内在するものを引き出す教育力～
 - ③生徒一人ひとりの命と健康を守る
～共助の学びと絆づくり、安全、安心な学校～
- (3) 成果
 - 令和5年度に実施した学校評価（保護者）の「学校は一人ひとりの生徒を大切にしている」の達成度は78.6%、「学校は子どものことについて家庭と連携をとっている」は81.7%と高い評価を得ることができ、学校と保護者が連携を図りながら一人ひとりの生徒を大切にした指導を行うことができた。また、「子どもは楽しく学校に行っている」は84.4%、「子どもはルールや約束を守って生活している」は84.8%と、高い達成度を得ることができ、子どもたちが安心して充実した学校生活を送ることができた。

新田中学校

創立年月日 昭和55年4月1日
 学級数 15学級 校長 遠藤 淳一
 生徒数 421人 教頭 神田 研二郎



<教育目標>

豊かな心と学ぶ意欲をもち 広い世界でたくましく生きる生徒

<研究主題>

主体的・対話的で深い学びの実現、社会に開かれた教育課程の実現
 ～学びの生活化・社会化～

<重点教科等>

全教科・全領域

<特色ある学校づくりへの取組>

- (1) めざす学校像
 - 大きな夢 明るいあいさつ 美しい心 きれいな学校
- (2) 取組内容
 - ①学ぶ意欲が向上する学校
 - ・主体的・対話的で深い学びの追求
 - ・基礎・基本の習得と活用
 - ・一人ひとりのフォローアップの充実
 - ②豊かな心が育成する学校
 - ・居場所がある環境づくり
 - ・いじめや不登校のない学校づくり
 - ・特別の教科 道徳の授業の充実
 - ・特別活動の充実
 - ③心身が健康でたくましい生徒を育成する学校
 - ・保健体育、性教育、安全教育、防災教育の推進
 - ・望ましい食生活の形成と食事環境の充実
 - ・生徒に寄り添った生徒指導・教育相談の充実
 - ・体育授業、部活動での体力向上
 - ④中学校区の幼保小中が連携した学校
 - ・幼保小中を一貫した教育の「草加っ子夢プラン」研究の継続
 - ・ベアスクールとしての絆を深めた「自己有用感」を実感させる教育活動
 - ・幼保小中を一貫した授業研究の実施
 - ・学校運営協議会、地域懇談会の充実した運営
- (3) 成果
 - 様々な学習活動・体験活動を通して、生徒の学ぶ意欲と豊かな心が一層育まれてきている。また、多くの生徒に自主性が育まれ、生徒一人ひとりが自己存在感・自己有用感を感じてきている。

青柳中学校

創立年月日 昭和56年4月1日
 学級数 16学級 校長 鈴木 英治
 生徒数 505人 教頭 石橋 一洋



<教育目標>

自ら考え実践する生徒（知）
 心豊かで思いやりのある生徒（徳）
 健康でたくましい生徒（体）

<研究主題>

自他を認め合える生徒の育成
 ～考え議論する道徳を通して～

<重点教科等>

道徳、生徒指導・教育相談の充実

<特色ある学校づくりへの取組>

- (1) 青柳中学校区の目指す「児童生徒像」
 - 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童生徒
- (2) 取組内容
 - ①自ら考え実践する生徒を育成する授業改善
 - ・自己肯定感・自己有用感、他者理解力育成の追求
 - ②心豊かで思いやりのある生徒を育成する活動の充実
 - ・生徒会活動・学校行事の充実
 - ③健康でたくましい生徒を育成する生徒指導の推進
 - ・生徒理解に基づく生徒指導・教育相談の充実
 - ④幼保小中を一貫した教育の研究と実践
 - ・小中学校間での情報共有と連携による効果的な指導の実践
 - ⑤地域とともにある学校づくりの推進
 - ・学校運営協議会を中心としたコミュニティースクールの実施
- (3) 成果
 - ICT等を効果的に活用し、基礎基本が徐々に定着し、深い学びにつなげることができた。
 - 行事等を通して、行動規範が身に付き、コミュニケーションを良好に保つことができた。
 - 部活動に積極的に参加することで心身の健全な発達が図られた。

松江中学校

創立年月日 昭和60年4月1日
 学級数 14学級 校長 須賀 達也
 生徒数 416人 教頭 橋本 哲



<教育目標>

ま：学ぶ意欲のある生徒 < かしこさ >
 つ：強い心と体をもつ生徒 < たくましさ >
 え：笑顔あふれる生徒 < あたたかさ >

<研究主題>

自ら学び、共に高め合う児童生徒の育成
 ～各教科の指導と評価の一体化を通して～（4年次）

<重点教科等>

全教科・全領域

（自己肯定感・自己有用感・他者理解の充実を通して）

<特色ある学校づくりへの取組>

- (1) キャッチフレーズ
 - 家庭で慈しみ 学校で教え 地域で育む
 - 生徒の笑顔に指導の成果を求めて！！
- (2) 取組内容
 - ①子どもへ達成感と充実感
 - ・教師一人ひとりの授業力の向上
 - ・集団活動を通した豊かな人間性の育成
 - ②子どもの居場所づくり
 - ・共感的な人間関係の育成
 - ・教育環境の整備
 - ③「幼保小中を一貫した教育」の継続・推進
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の研究推進
 - ④生徒の具体行動「松中PRIDE～I LOVE MATSUE J.H.S～」の推進
 - ・感謝 敬愛 礼儀 正義 自律 努力 の育成
- (3) 成果
 - 達成感と充実感を味わわせる授業を行うことで、子どもたちの意欲が高まり学力が確実に伸びている。
 - 「共感的理解」を大切にし、ながら授業や学校行事等を充実させることで、豊かな心を育み良好な人間関係が築け、絆が強まり子どもが楽しく学校生活を送ることができている。